

〈企画展〉

図書館社会教育の 実践者

—西田幾多郎の弟子、中田邦造—

〈会期〉

令和6年(2024年)

3/26(火)~9/29(日)



中田邦造
(梶井重雄編
『個人別図書館選集 中田邦造』
日本図書館協会、1980年)



西田幾多郎

京都帝国大学で西田幾多郎から哲学を学び、西田の故郷・石川県で
県立図書館長になった中田邦造(1897-1956)。農村部の青少年を対象に
読書学級や青少年文庫を立ち上げ、郷土資料の保存に注力するなど、
図書館社会教育の実践者として、日本の図書館界に大きな功績を残し
ました。西田幾多郎との関係性を中心に、その足跡をたどります。

同時開催・かほく市立中央図書館展示

かほく市における読書会活動

—東田平治と中田邦造—

中田邦造の影響を受けて、石川県河北郡市での読書活動に尽力した東田平治
(元七塚小学校校長)。当展はかほく市立中央図書館が主催し、西田幾多郎と中田
邦造、そして東田平治へと繋がっていった地域活動の歴史をご紹介します。

- 会期：2024年7月20日(土)~9月20日(金)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日) ○観覧料：無料
- 観覧時間：火~金 9:00~19:00・土日祝 9:00~17:00
- 主催：かほく市立中央図書館 協力：石川県西田幾多郎記念哲学館

関連イベント

- 【哲学館】2024年度西田幾多郎哲学講座①
「図書館社会教育の実践者・中田邦造
—西田哲学から受け継がれたもの—」
○日時：5月25日(土) 13:30~15:30 参加費500円*、申込不要
○講師：浅見洋(石川県西田幾多郎記念哲学館館長)
○会場：石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール
*西田幾多郎哲学講座の年間受講者は不要。
- 【哲学館】映画上映会
「疎開した40万冊の図書」
○日時：7月13日(土) 13:30~15:10 参加費無料、申込不要
○会場：石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール
- 【中央図書館】かほく市立中央図書館講演会
「東田平治—かほくの読書会活動の源流—」
○日時：9月14日(土) 14:00~15:30 参加費無料、要申込
○講師：越野正勝(元かほく市立七塚図書館館長)
○会場：かほく市立中央図書館2F 視聴覚講義室
(かほく市遠塚口 57-6 TEL 076-285-1377)

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp



■facebook / Instagram でも関連情報を随時更新しています。

観覧時間 ■ 9:00 ~ 17:00 (入室は16:30まで)
休館日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
観覧料 ■ 一般300円 (団体250円・20名以上) / 高齢者(65歳以上)200円
/ 高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方および介助者1名無料
交通アクセス
【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC]-国道159号線(約20分)
のと里山海道 [白尾IC]-約5分
【JR利用】金沢駅-IRいしかわ鉄道線・七尾線(約25分)-宇野気駅-
徒歩(約20分)-哲学館



〈企画展〉

図書館社会教育の 実践者

—西田幾多郎の弟子、中田邦造—

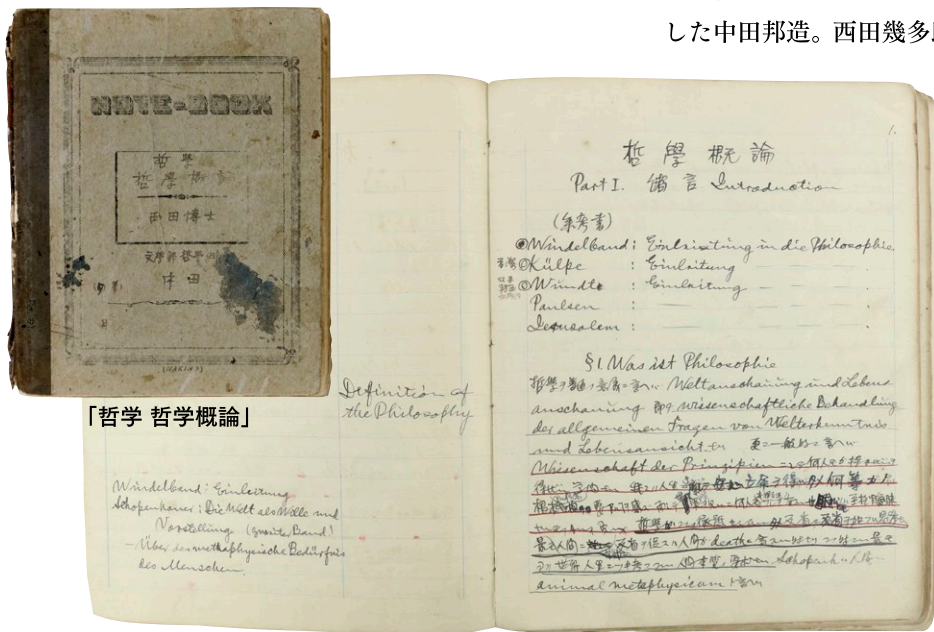
〈会期〉

令和6年(2024年)

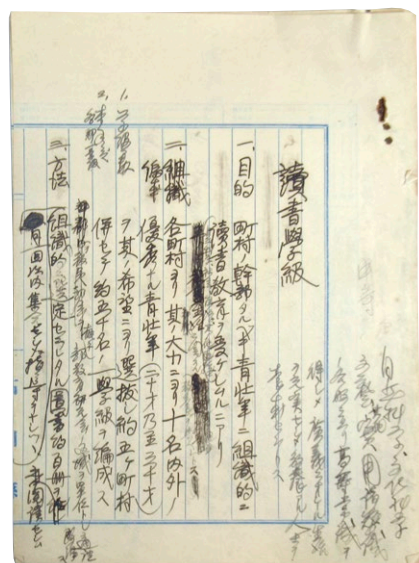
3/26(火)~9/29(日)

石川県立図書館の第四代館長(昭和6年~15年)を務めた中田邦造。滋賀県に生まれ、京都帝国大学で西田幾多郎から哲学を学び、西田の故郷である石川県に就職しました。在任中は、本を読む機会が少なかった農村部の青少年を対象に読書学級や青少年文庫を立ち上げ、石川県児童研究会(現石川県児童文化協会)を設立するなど、石川県の読書活動・児童文化の育成に影響を与えました。また中田は郷土資料の保存にも注力し、歴史資料の収集・整理にとどまらず出版も行い、全国的にも高い評価を得ていきます。その後、東京帝国大学図書館司書官を経て昭和19年に東京都立日比谷図書館長となった中田は、戦争が激しくなる中、図書館の蔵書40万冊を東京郊外に疎開させたことでも知られています。

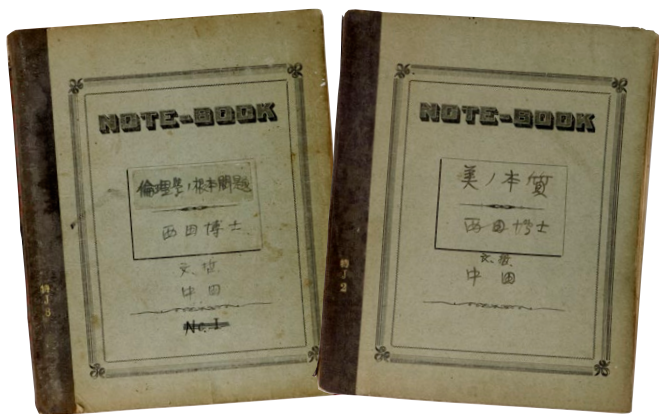
図書館社会教育の実践者として、日本の図書館界に大きな功績を残した中田邦造。西田幾多郎との関係性を中心に、その足跡をたどります。



「哲学 哲学概論」



中田邦造原稿「読書学級」(石川県立図書館所蔵)

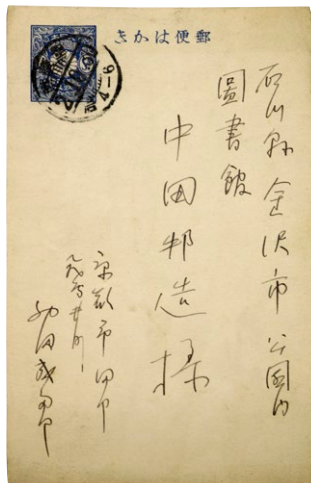
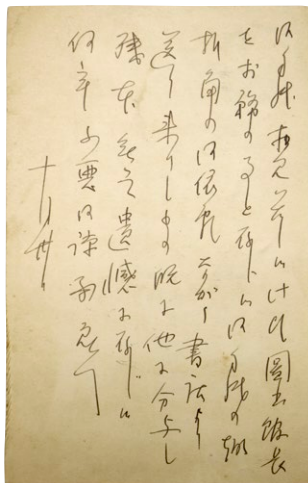


「倫理学ノ根本問題」

「美の本質」

中田邦造受講ノート(石川県立図書館所蔵)
西田幾多郎の講義を受講した際のノート

中田邦造宛、西田幾多郎書簡
昭和2(1927)年10月30日
(石川県立図書館所蔵・全集未掲載)



関連イベントの解説

①【哲学館】2024年度西田幾多郎哲学講座①
「図書館社会教育の実践者・
中田邦造—西田哲学から受け継がれたもの—」

中田邦造は滋賀の生まれであるが、京都帝国大学の西田幾多郎の下で学んだのが縁で石川県職員となった。その後、石川県立図書館、東京都立日比谷図書館の館長を歴任し、青少年文庫、読書学級の創設など、図書館社会教育の実践者として近代日本の図書館発展に大きな影響を与えた。邦造の読書論の背景にあった西田哲学をひも解いてみる。

②【哲学館】映画上映会
「疎開した40万冊の図書」

第2次大戦中、図書館の蔵書を戦火から守るため疎開させた史実に迫ったドキュメンタリー。日比谷図書館館長の中田邦造が中心となって計画され、都立一中(現・日比谷高校)の生徒らが蔵書を郊外へと運び出した。疎開に参加した生徒や蔵書をかかまった土蔵の持ち主、作家の阿刀田高、早乙女勝元らの証言により、知られざる真実をひも解く。

③【中央図書館】かほく市立中央図書館 講演会
「東田平治—かほくの読書会活動の源流—」

中田邦造のもとで青少年読書会活動に取り組んだ、元七塚小学校校長・東田平治。中田の使いで西田幾多郎に会いに鎌倉を訪れ、晩年にはかほく市木津へ帰省した高橋ふみ(西田幾多郎の姪、哲学者)が指導した読書会も開催している。東田平治が河北郡市で行った読書活動について、詳しく紹介する。